

環境にやさしいクリーン農業で、楽しく遊んで学ぼう！

- 私たちの住む北海道は、全国の4分の1の農地があり、日本の食料を支えるとても重要な役割を果たしています。
- その北海道では、今から約30年前(平成3年(1991年))に、全国に先駆けて環境との調和に配慮した農業(クリーン農業)を提唱。
- YES!clean表示制度は北海道生まれの農産物表示制度で、環境に配慮して化学肥料や化学合成農薬を減らすなどの厳しい基準をクリアしたクリーン農産物にマークをつけます。このYES!cleanマークを目印にすれば、お店で出会うことができます。
- さあ、今回は、クリーン農業のイラストを使って、左と右の絵の**まちがいがしゲーム**をして、楽しく遊んで学びましょう！！



左と右の絵のちがいは7つあるのダ！ よーくさがしてね。

正解は、北海道クリーン農業推進協議会のホームページでわかるのダ！（解説付き）ホームページには、クリーン農業、YES!clean表示制度について、学校給食ごはんに掲載した記事のバックナンバーを紹介しているよ。ぜひ読んでね。

北海道クリーン農業推進協議会

YES! cleanマークは北海道生まれ。クリーン農産物の目印です。お店でもさがしてね！



yesclean

検索



北海道安心ラベル



<まちがいさがしの答え>

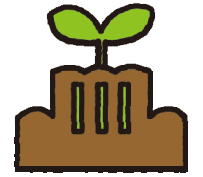
記事のバックナンバーも読むと、解説がわかりやすくなるのだ!



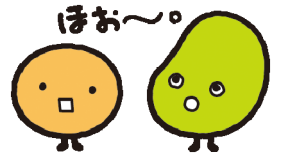
ハタケダ博士

左と右の絵は、ここがちがうのだ!

- ① 北海道クリーン農業イメージキャラクターの「ハタケダ博士&くりーんだね」のイラストが違う
- ② 山のひとつが、クリーン農業を学ぶ「ハタケダ大学」になっている
- ③ 牛の模様が違う（牛は、作物がよく育つ土を作るために必要な、堆肥の原料となるふん尿を出す）
- ④ 土をふかふかにしてくれるミミズが、へびになっている
- ⑤ 化学肥料や化学合成農薬をなるべく少なくしたクリーン農産物を作る畑で、クリーン農業を学ぶ種たち、「くりーんだね」が遊んでいる
- ⑥ 農薬が少ない畑のまわりで飛び回るトンボが、飛行機になっている
- ⑦ 畑の中や畑のまわりに暮らす虫をえさにする鳥が、1羽少ない



ハタケダ大学



くりーんだね

